

事業所における自己評価結果

「事業所における自己評価結果」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和 6年 3月28日

事業所名:小平市立たいよう福祉センター

		チェック項目	はい	いいえ	主な意見
環境・体制設備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13	5	・クールダウンの部屋、必要に応じて少人数で別の活動をする部屋など足りない。
	②	職員の配置数は適切である	8	10	・配置数は適切だが、欠員が補充されていない。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	13	5	・支度時の視覚的提示、個々に合った台、場所(環境)設定、タオル掛けの位置、高さなど工夫している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	8	・改修したところは新しく良いが、古い所は壁がささくれたりしている。 ・築古のため、ごみが溜まりやすい。隙間風があり、網戸も閉まらない。トイレ洗面に空調、温水がない。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	6	・各グループごとの目標設定や活動の振り返りもしっかりとされていると感じる。細かいところまで、気づくと共に配慮もなされていると思う。 ・残業が多いので、改善が必要である。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14	1	・難しい事案もあるが、検討したり、改善に向けて話し合っている。 ・保育時間の園長など、園の改善だけでは難しいと思うが、日中一時の利用等、サービスに繋げつつ、フォローアップも手厚くされていると思う。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	2	・集計結果の公開を行っている。 ・ホームページへアップされていたと思うが、改善まで至っていない部分もあり、検討が必要かと思う。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	13	2	・評価を職員に周知し、提案等を行っている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	14	4	・職場内研修の他に部署内の研修も検討中である。 ・もう少し学びの機会が必要と感じる。 ・外部研修も参加しやすい雰囲気なのでありがたい。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	14	2	・面談の時期を見直し、前期後期の計画書の作成にあたっている。

適切な支援の提供

⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	7	・アセスメントツールはない。
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13	2	
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	17	0	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	15	2	・クラスの職員とミーティングを行い、決めている。 ・チームごとに細かいところまで考えられていると思う。 ・立案はしているが、クラス職員全員で行ってはいない。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	2	・日案の他、月案も作成し、バランスよく活動内容を決めている。 ・色々な経験ができるようにしているが、あえて固定化し、見通しも持たせている。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	12	2	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	2	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	2	・毎日、短時間だが行っている。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	2	・記録はしっかり取っている。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11	3	・不十分なところもある。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	5	・サービス担当者会議はない。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10	3	・計画相談との連携をしている。 ・家庭等に問題が生じたときに行っている。

	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	1	・家族を通じて、受診の情報や相談事など共有させていただいています。
	㉑	(医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	1	・医ケア対象児や重心児ではありませんが、協力医療機関と密に相談しながら、連携している。 ・アナフィラキシーやてんかん等、発作のある児に対して、マニュアルを作成、連携が取れるようにしている。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	2	・移行時、状況説明書を作成したり、直接園に出向いて支援方法等伝えている。 ・引き継ぎ等、しっかりしている。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	2	・就学支援資料や引き継ぎ等を行っている(こげらシートも)。 ・引き継ぎ等、しっかりしている。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	7	
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	12	3	・近隣の保育園の園庭で園児との交流を行っている。 ・体制や健康など様々な理由でどうしても機会が少ない。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	5	・一部の職員は参加している。報告はない。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	2	・連絡帳、電話、来所時などに伝えたり、気になることを共有している。
保護者への説明責	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	12	2	・心理士と企画し、実施している。 ・専門職からの研修会など幅広く行っていると思います。
	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	14	1	・見学时、入園前面談時、入園時説明会などで丁寧に行っている。 ・重要事項を説明している。
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容に説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	14	1	
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	16	1	・電話だけでなく、必要に応じて面談を設定し、話を聞く時間を作っている。

任等	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	16	1	・父母会窓口をつくり、連携している。お便り配付、回収等にも協力している。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	14	1	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	16	1	・月1回の園だより、保健だよりを作成、発行している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	17	0	・各自がそれぞれ十分に気を付けている。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	17	1	・外部からのイベント等の情報についてもお伝えしている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	15	2	・センターまつりを開催し、地域の人との協力、交流を行っている。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	15	2	・マニュアル作成し、職員への提示や配付、研修も実施している。 ・まだ不十分な部分もあるが、マニュアル作成をすすめている。 ・防犯マニュアルは、見たことがないような気がする。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	17	1	・避難訓練も定期的に実施している。 ・行っているが、十分ではない。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	17	1	・入園前の調査票、面談にて確認をしている。 ・マニュアルあり、年度ごとの確認を行っている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	18	0	・入園前に確認、指示書に基づいてアレルギー会議を実施、対応内容を確認している。 ・マニュアル作成し、本人への対応について職員間で周知している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	18	0	・各部署で取りまとめたものを委員が集計、分析している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	18	0	・年1回以上研修を行い、意識を高めている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している	13	4	・保護者への確認は必ず行っている。支援計画への記載は整備を進めている。

※回答未記入、不明についてはカウントされていません